

# 黒島小・中学校のあり方検討委員会だより No.12

平成29年12月吉日

黒島町民の皆様へ

黒島小・中学校のあり方検討委員会  
会長 大村 靖

12号では、これまで決定してきた内容を紹介します。

## 1 正式名称は「黒島小中学校」に決定しました

- 平成29年3月の町内回覧で黒島町全家庭に校名募集をお願いしました。
- 21の募集結果をあり方検討委員会で5つに集約し、4月の町内回覧で、どれがよいか、黒島町全家庭に投票をお願いしました。
- 投票を集約した結果、一番多い「黒島小中学校」を正式な校名とするよう佐世保市教育委員会に要望しました。
- 平成29年佐世保市議会6月定例議会において、議決されました。

## 2 新校名考案者・投票者に感謝状・記念品を贈呈しました

- 10月3日のあり方検討委員会において、新校名を考案した複数の方と、新校名に投票した方から、厳正なる抽選を行いました。その結果、赤波江克樹さんと松崎南さんが当選されたので、10月10日に、大村会長から感謝状と記念品を贈呈しました。



## 3 学校の愛称名を「黒島はまゆう学園」とします

- 公的な場においては黒島小中学校という正式名称を使用します。ところが、対外的な行事等において、例えば佐世保市中学校体育大会（通称、中体連）や小学校体育大会（通称、小大会）において全体の中で学校名が呼名されたとき、中体連では「小学生もいるのか」、小大会では「中学生もいるのか」という誤解を生むという弊害が予想されます。そこで、4回に渡るあり方検討委員会での協議の結果、愛称名が必要であるということになりました。「黒島」という地名は必要であることや、投票で二番目に多かったこと、上記のような弊害が無いことから、愛称名を「黒島はまゆう学園」とすることとしました。皆様の御理解をよろしくお願いいたします。

#### 4 学校の新校章を決定しました。

○校章のデザインを6月15日から6月30日まで黒島小中学校の児童生徒に募集しました。その際、現小・中学校の校章の意味を紹介しました。

##### <黒島小学校>

黒島という文字の周りの8つの波は、黒島町の8つの地区を表し、内側の6つの丸は、6学年を表している。



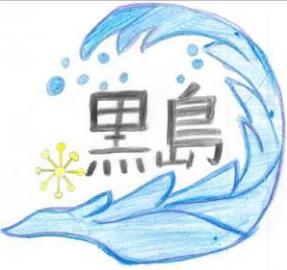


##### <黒島中学校>

両側のはまゆうは、花のように清い心を持ち、皆で力を合わせ、心のつながりをいつまでも強く持ち続けてほしいという願いが、地色のこげ茶は、子どもたちのたくましい肌色から、何事にもくじけない人に育ててほしいという願いが、「中」の字の上下の旗は、社会人となった時に、それぞれの旗印を挙げ社会の役に立つ人になってほしいという願いが込められている。



○児童生徒が募集した12点から、あり方検討委員会で協議を行い、3点に集約しました。その3点をプロのデザイナーの方に依頼して修正をしてもらいました。公正公平を期すため児童生徒名をふせて協議しました。

○そのデザイナーが修正した3点からあり方検討委員会の全委員の投票により、以下の作品を採用することとしました。

児童生徒作品	デザイナー修正(カラー)	デザイナー修正(白黒)
		
<p>外側は黒島の海（波）を表し、内側に入っている9つの波は9学年を表す。水玉は黒島から巣立っていく児童生徒を表す。この波は全体で見ると一羽の鳥に見え、皆で一つになってほしいという思いが込められている。左下のはまゆうは黒島の象徴であり、先が8つに分かれていて、黒島の地区数を表している。黒島小中学校は、いつも地域の支えがあることを忘れないようにという思いが込められている。</p>		

#### 5 新校章考案者に感謝状・記念品を贈呈しました

○新校章を考えてくれた松崎明日香さんに、11月11日、大村会長から感謝状と記念品を贈呈しました。

